

日本の竹ファンクラブ通信

編集・発行 日本竹類総合研究所・特定非営利活動法人日本の竹ファンクラブ

横浜市都筑区中川1-5-19 プロミネンス14-304号 TEL&FAX: 045-306-9993 MAIL: office141@takefan.jp URL: <http://takefan.jp>

現在の会員数 正会員 129 名／準会員 8 名／賛助会員 個人 17 名・団体 2・法人 3 (竹取協力隊 121 名)

新たなビジネスモデルの確立を！

平成30年度総会が開催されました

会員の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。平成30年度の定時総会が6月17日、城郷小机地区センターで開催されました。平成29年度の事業報告及び収支決算報告並びに監査結果報告の件と平成30年度の事業計画並びに収支予算の内容報告の件、役員選任の件が報告され、原案通り可決承認されました。以下29年度の事業報告と30年度事業計画の概要を報告します。

1. 平成29年度事業報告

当期は、竹林の保全と固定費の削減、新規事業の創出をテーマに活動を推進してきました。しかし、主要事業の一つである竹灯籠事業が3か所全てで開催中止という未曾有の出来事が発生、決算数字に大きな影響を与えることになりました。

① 竹林の環境保全と活用に関する事業は昨年同様六ヶ所、10.8畧の竹林整備が完了しました。延べ参加者は1,144人でした。

② 教育・研究に関する事業では「竹の学校」の受講者

が昨年に続き微減したものの終了後の継続参加者は昨年を上回りました。出前講座」は受託件数が11件を超え、前年比275%と大幅に増加しました。企業、自治体からの依頼が増えたことが要因です。

③ 竹資源を活用した事業は「竹灯籠祭り」事業が天候やフィールド事情により3か所全てが中止になりました。準備等先行投資がかさみ経営的にも大きな影響を及ぼしました。準備作業参加者延べ340人。たけのこ堀」事業は本年が裏年に当たるため、

昨年より小規模開催となりました。販売事業」は一連の影響で大幅減となりました。

④ 新規プロジェクトでは竹のバイオマスプラスチックの試験販売を実施しました。

2. 平成30年度事業計画

次期も当団体を取り巻く環境は依然厳しいものがあります。天候に左右されないビジネスモデルの確立を急ぎ、竹材の新たな需要を創出、経営資源の拡大と持続的な成長を目指します。

① 竹林の環境保全と活用に関する事業はフィールドの増減予定なく、昨年同様

6ヶ所、10.8畧の竹林を整備します。

② 竹林に関する教育・研究支援に関する事業では、竹の学校」出前講座」を例年通りの運営を行います。

③ 竹資源活用事業では竹灯籠祭り」を小机城址市民の森、国際プールで開催します。

④ 新規プロジェクトの取り組みでは親子で参加できる自然体験型コースの新設検討、加工食品の具体化、竹バイオマス資源の活用を考えます。

3. 決算 5ページに開示

以上、本年も竹林の保全と活用を総合的に推進、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

4月は恒例のたけのこ掘りを行いました。

10時、11時の2回に分けて実施いたしました。

もう9時頃には、大勢のお客さんが集まり出しました。たけのこが沢山出る表年と言われる今年は例年より2週間も早く出筈しました。その為、たけのこ掘り当日までには生育も進み、あちらこちらに、こ掘れとばかりに顔を出しており、参加された皆さんは探し回ること無く、喜び勇んで筈の下に重いスコップを差し込んで掘り上げていました。



スタッフとして協力いただいた皆さんもたけのこの土産を持ち帰ることが出来ました。

5月はチップパー作業を主に行ないました。二の丸奥から階段を下りた散策路脇の古くなった穂先垣根を解体したり、足場材の入れ替えも行いました。

また、竹林内の止まり筈を伐採したり、細い若竹の伐採処理も進め、竹林内に適正本数を確保するべく作業しました。

報告：真板保昌



活動日 4/21、5/6 延参加者 149名

横浜国際プール支部

3月中は竹灯籠まつりの材料となる竹間伐と枯竹の伐採、竹灯籠つくりと設置が毎土・日曜日に降雨もなく進めることができて順調な作業でした。まつり順路の整備も併せて進めインターロッキンググブロックを持ち上げていた太い地下茎の処理も毎回できて、より安全な通路の確保ができました。少し余裕が持てた間伐と竹灯籠まつり準備活動となったが、まつりの前日準備日には午後からは早くも出ている筈の処理をまつり順路際・隣接民地境界やマダケ林とモウソウ竹の境界の緩衝地帯で実施したが過去記憶にない早い出筈には参加者の驚きがありました。

4月はまつりが終わって竹灯籠を中井町・磯島湿生公園・竹灯籠のタペ実行委員会へ提供のため、メイン会場で土のう袋に詰めて上に運ぶこと2日間、

この間最終実習の桐蔭横浜大のサービスマン・イング受講生2人と竹取協力隊員が館内のYショップで感想を聞く懇親ができました。竹灯籠の提供はここでの竹灯籠まつり初期に小机城址へ運搬して再使用したことが思い出されました。

筈はすくすく伸びて例年より2週間以上早く穂先を収穫し竹水仕込みをし、その後の採水では驚きのたっぷり水量、風に揺れる笹葉の音をBGMに生竹水や焼酎の竹水割りをおいしくいただきました。

報告：根岸秀行



活動日 4/1・14・17・20・27、5/12 延参加者 51名

こどもの国支部

こどもの国の園内には、三大有用竹の竹林があり関東地方では珍しいと言われています。

4月は孟宗竹、5月には淡竹（ハチク）、そして6月には苦竹（マダケ）の筈が顔を出します。

親竹になると区別がしにくい竹も筈でハッキリと区別でき、筈が出る時期に、通常トサカと言われる部分の形状、筈の皮の文様等々でわかります。

4月10日・24日は孟宗竹林の親竹選定と密度管理を行いました。今年は筈の表年に当たり沢山出ており、親竹選定するよりも筈の除去に時間を取られ、二日間で300本以上を除去しました。

報告：中元秀幸

6月 苦竹の筈



6月 淡竹の筈



5月 孟宗竹の筈



活動日 4/10・24、5/8 延参加者 53名

中井町支部

この期間の活動は、フールドの中心より北側道路沿 ヤマユリライン小田原・中井線)の維持管理作業 間伐とチップパー機による処理)と南側下の再整備区域を主に、間伐・運搬・焼却・作業を行い参加された皆様にご活躍頂いております。



活動日 4/26、5/10・24、6/7 延参加者 55 名



また、6月7日は、南側下に有りましたスチール物置を、備品運搬の軽減策として、上の休憩所横に当日参加の皆さんにご協力を頂き移動致しました。



中井町半分形竹林の活動日は7・8月を除き木曜日を中心に作業を行っていますので、皆様のご参加をお待ちしています。

報告：石川正壽

伊豆の国支部

4月22日(日)は当クラブより8名、伊豆側7名、市職員の方々5・6名の参加者でした。

江川邸南側民家裏の伐採残の古い竹を除去する作業を行い、この猛暑の中、全員汗だくになりながら大型、中型の2台のチップパー機まで、古竹を運び、チップパー機から排出されるホコリが地区の空を白く染めました。

同時に新しい竹の除去も併せて行いましたが人数が少ないせいか、やはり作業効率は上がりません。

今年は筍の表年でしたので、孟宗竹の出筍が顯著で来年以降の駆除作業も人海戦術で対応しないと不可能ではと心配です。昼食は地元金谷地区の皆様のご好意で、いつも味噌汁を作って頂き、美味しく頂いています。また、いちご・べにほっぺ)と研修センターの

梅を沢山頂きました。紙面を借りて御礼申し上げます

報告：五十川健郎



活動日 4/22 参加者 21 名

都筑折本

4月12日は平日ですので心置きなくチップパー作業を実施。竹林の下側付近に残っていた古竹の山、並びに隣地境界に立て掛けてバリケードにしていた古竹を対象にチップパー処理を実施し、竹林内にあったもののチップ化は完了しました。

また作業道に生えている不要なタケノコは竹林の恵みとして有りがたく掘って参加者のお土産としました。

4月15日は恒例となりつつある一般参加者による筍掘り。前日が雨で、当日も雲行きが怪しく、どのくらいの方が参加するのか心配でした。

それでも各家族や友人などを含め総勢27人の参加者が有り心配することなく終わりました。

表年の今年はあちこちにたくさんタケノコが生えていたので参加の皆さんはじっくりと選り

がらタケノコ掘りを楽しんでいました。三世代で来られた家族の方は子供さんが一生懸命に掘っているのを応援しながら眺めているという微笑ましい場面もありました。



皆さんそれぞれ大きいサイズ、小さいサイズお気に入りを入りに手に帰って行きました。

サポートに当たった竹取援農隊の皆さんもお土産用に掘ったものを分けて解散としました。

報告：山根泰裕

活動日 4/12・15、5/13 延参加者 52 名

竹林管理コース

第1回目 城郷小机地区センターにて講義。

竹の由来と生態

放置竹林の発生原因や問題点・竹林再生への課題等々を座学でまなび、

午後からは穂先筍の収穫と竹水作りを行いました。

第2回目 午前の講義

は「筍の育成と管理」を受け、午後からは小机城址市民の森で実習を行いました。城址全体を見回しながら、先止め体験振り落とし法を行ったり、前回仕込んだ竹水の回収を行いながら、これ以上は成長しない若竹の伐採も同時に行いました。

伐採の仕方は、倒す方

■講座 No.1 5月6日
講義：竹の由来と生態
実習：穂先筍収穫と竹水作り
■講座 No.2 5月26日
講義：筍の育成と管理
実習：若竹伐採と竹水取水
講義：城郷小机地区センター
実習：小机城址市民の森
講師：平石眞司
延参加者：19名

第11回横浜国際プール竹灯籠まつり

向や位置などを確認しながらやっていくのはまだまだ難しそうでした。本丸の手前では、土留の竹を3M位も持ち上げている今年出芽の筍が有り、

参加者全員が筍の生命力に感心していました。

作業の終わりには、採

集した竹水の味見をしました。竹の節を適当な所まで、細竹を通していきませんが、下手をすると、最下端の節まで突き抜け



てしまい、せつかくの竹水が漏れてしまう事も有りました。でも、旨く突き抜けた竹の竹水は皆さんで分けながら得も言われぬおいしさを味わいました。

担当：事務局

一年おいて春開催2回目となる、第十一回横浜国際プール竹灯籠まつりを林浴の庭にて開催しました。

庭」とは言えメイン会場はかなりの急斜面。事前に落ち葉の払い落としからのスタートです。

先ず大規模マシニングヘチラシのポスティングは、途中から雪となって中止も。3人で延べ3日掛りました。

一ヶ月に及ぶ準備期間中は、50年来との記録的な好天に恵まれ順調。がしかし、いざ本番は次々と襲来する低気圧に予報9mの強風。ハラハラドキドキの展開となりました。

昨秋の小机における中止の再来かと危ぶむ中、前日にまつり決行を決定。幹部陣の思い切りのよさは感服ものです。

当日は35名を越える会員の協力をいただき、相

変わらずの風の中、水入れ、ローソク入れと順次こなしていきます。少しでも風が収まるのを待ち、着火時間は30分遅らせ

4時半開始。この時5mの風。上部広場から帰路に設けた足元灯はメイン会場斜面から吹上げる風に水平切り灯籠は全滅、

斜め切りに取替えるものの何度も点け直すことに。入場開始時間は予定通り5時30分。早い時間での来場者に、今回の記念品はM氏の手になる50CMの長尺竹靴べらをプレゼント。

若い世代で子供連れが多い都筑区、毎回恒例のテニスコート際の入場口には次々ベビーカーが置かれ、幼児が歩く・抱えられていく。

落ち着きつつもまだ4mの風に翻弄され、奥の東屋エリアでは吹抜ける南風に竹灯籠、オブジェのローソクは健気に頑張

りを見せる。

メイン会場斜面の竹灯籠、仰ぎ見る富士山は会員が何度も上り下りしてこまめに着火を繰返す。

ご苦労様でした。一方、レインボーLEDの三日月は安定した彩りで、お客様を魅了しました。

お客様の楽しみは飲食も。昨今人気の玉こんにゃくは昼食時に配給され、酒のつまみにもいける味付けに舌鼓を打ち、また、定番のかっぱ酒

は中井で伐採してきた青竹のこだわり。お店の前は行列となって大盛況。

途中、雨がパラパラと降ることもありましたがなんと持ちこたえ、7時半入場口閉鎖。入場者

合計は970人。カウント締切後も息せき切った間に合ったと来られる方にお断りはできません。

その数、二桁に昇ります。帰り際に坊やが「きれいだった。感激した!」と

叫ぶ。

坊や、そんな言葉知ってるんだ! 感激しましたよ。

来年も頑張りますね。45分に店舗の営業終了。8時ロウソクの回収開始計画通り、片付け9時終了と相成りました。

担当：木野内俊雄



TAKEFAN NEWS

平成30年度総会が開かれました

今年は、6月17日（日）城郷小机地区センターに於いて開催されました。

出席総数 29 名の参加で、1号議案：平成 29 年度事業報告並びに収支決算の報告が平石理事長から、監査報告を司会者からありました。

次に2号議案：平成 30 年度事業計画並びに収支予算書が発表されました。

また3号議案：役員改選の件につき提案がありました。各議案について諮られ、議案はすべて可決されました。その後、新横浜駅近くの会場に場を移し、懇親会となって新入会員の紹介や、久しぶりにお会いできた会員の近況報告などに会場は和やかな雰囲気になって、盛況のうちに終了しました。



新役員の紹介

理事：平石眞司、石川正壽、佐々木藤男、田中克樹、
中元秀幸、根岸秀行、野茂末廣、廣内吉隆、
眞板保昌、依田八重子、山根泰裕、木野内俊雄

監事：溝口則幸、植田 稔

（順不同・敬称略）

新入会員紹介 下線は竹取協力隊入隊者

中村高之（横浜市港北区）、居島英樹（横浜市南区）、横山春男（横浜市保土ヶ谷区）、益田清次（横浜市泉区）、
西内英雄（東京都青梅市）、福島 勝（横浜市青葉区）、小田 静（川崎市麻生区）、小川博永（大和市中央林間）
計8名（順不同・敬称略）

平成 29 年度決算報告及び平成 30 年度予算
下記の通り報告いたします。 平成 30 年 3 月 31 日

貸借対照表

活動計算書（平成 29 年度実績対比予算書）

科目	金額	金額	科目	29 年度実績	30 年度予算
I 資産の部			I 経常収益		
1. 流動資産			1. 受取会費	418,000	388,000
現金預金その他流動資産	7,679,451		2. 寄付金	0	20,000
2. 固定資産			3. 助成金	0	300,000
有形固定資産	1,553,961		4. 事業収入	1,807,954	3,253,600
資産の部合計		9,233,412	5. その他収益	23	23
II 負債の部			経常収益合計	2,225,977	3,961,623
1. 流動負債			II 経常費用		
流動負債	386,661		1. 事業費	2,847,598	2,385,664
負債の部合計			2. 管理費	4,609,949	3,259,423
III 正味財産の部			当期支出合計	7,457,547	5,645,087
前期繰越正味財産額	14,078,321		当期経常増減額	-5,231,570	-1,683,464
当期正味財産増減額	-5,231,570		当期正味財産増減	-5,231,570	-1,683,464
正味財産の部合計	8,846,751		前期繰越正味財産	14,078,321	8,846,751
負債及び正味財産合計		9,233,412	次期繰越正味財産	8,846,751	7,163,287

加工食品事業の展開

2014年7月、鳥取県西伯郡南部町への調査見学からスタートした穂先筍からつくる食品は、2016年6月に事務局員宅バルコニーウッドデッキをお借りして始めました。

今年度は事務局移転に伴い、商品開発拠点が整い千切りロボマシン、乾燥機、真空パック機が稼働し、穂先筍を採取して竹からつくるための包装迄できました。4月16日から5月14日まで約1か月の間にレシピや穂先筍採取、そして味付け調理してパック詰めまで9日間（延べ20人100時間）協力隊員が参加して進めました。現在自治体食品衛生機関への製造所営業申請（開発拠点）、また食品の検査機関に委託して製品の衛生検査分析をしています。



Cool Takefan

◆梅雨入り前に春うらがあつただろう。晴れて日が柔らかく静かで穏やかな様子を表すが、昨今は様子が変わってきてい

る。振り返るとそれらしい日もあったが午後は一転強風となり竹林がざわついた◆天気予報には、全国的に荒れた天気になりますという言葉が頻繁に出ていた。強風、横なぐりの雨、雷、次々くる台風といろいろだがイベントも影響が出ている◆昨年からだけでも竹灯籠まつりや筍掘りに影響がでた。市民が楽しみにしている中をやむを得ず中止にしたことなどだ◆サクラも随分と早く開花したが連日の強風や荒天、注意報基準を超える日々はうらかな草木が芽吹く心地良さの中ではなかったが今年もまた癒された。梅雨が恵みの雨となるよう穏やかに過ぎることを望むばかり。

竹林整備間伐時の安全ワンポイント

“今日一日 明るく楽しく 安全に”

竹林での作業は、自分のもとより他の仲間にも注意を払い、

声かけをして安全優先で作業にあたりましょう。

1. 作業のしやすい服装をする。
2. 離れた場所での単独作業はしない。
3. 足場をかためて作業のしやすい状態を確保する。
4. 常に周囲の竹と他作業者の状況を見極める。
5. 竹を切り倒すときに、竹稈の下の方が裂けてバネ状態にならないようにする。
 - ① 竹の先端方向が倒れている側の、地面に近い節の上部に受け口切りを行う。
 - ② 受け口切りはノコギリが竹重量で圧迫されないよう注意しながら、竹稈の厚さ以上まで切り込みを入れる。
 - ③ ノコギリが挟まれた時は、他作業者に反対側に押してもらいノコギリを外す。
 - ④ 倒す側に身体を入れず、受け口の反対側から少し上の位置で追い口切りを行う。
6. 竹の移動や振り回しは、周囲に立つ竹や他作業者に注意を払い行う。
7. チッパー作業の竹投入口の操作者はフェイスマスク付きのヘルメットを着用する。
8. チッパー操作者と近くの作業者は耳栓やイヤーマフを使用する。（工具箱の中）
9. チェンソー取扱いは、防塵メガネやフェイスプロテクターを着用する。

<活動報告>

6月10日 理事会・総会準備
6月17日 平成30年度通常総会
6月30日 通信夏号発行

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動
※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい

9月9日（日） 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐 10：00～15：00
9月13日（木） 協力隊	中井町 10：00～15：00 竹林のお礼肥と下草刈り
9月15日（土） 協力隊	横浜国際プール 10：00～15：00 竹林の整備（細竹処理と下草刈り）

9月23日（日） 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐 10：00～15：00
9月30日（日） 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐 10：00～15：00

竹に関する情報がありましたら、どんなことでも結構です。下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993